



食の未来づくり運動

# 長野の棚田で田植え体験&交流

## ～金芽米長野コシヒカリ・あきたこまちのふるさと

### 長野県小諸市に行ってきました～

開催 2024年5月25日



時折強風が吹く曇り空の下、池袋駅西口に16組が集合し、バスに乗り込みました。おとな23人、小学生7人、小学生未満のお子さんも4人と公募に当選した幅広い年齢層が参加です。

「無洗米金芽米長野コシヒカリ」「無洗米金芽米あきたこまち」のメーカー東洋ライス(株)の北本課長、東都生協農産グループ米担当小俣職員、東都生協ワーカーズ「食と農を楽しむ会」の鈴木さんの引率で定刻通り午前8時出発。小諸インターチェンジを降りてすぐのJA東信会館に11時前に到着しました。風の涼しさで高原を感じます。ここは、浅間山を北に望み、南に八ヶ岳がそびえる高地で、豊かな水量、昼夜の寒暖差がある自然環境が、おいしい米や野菜を育みます。

小諸市の佐藤農林課長とJA佐久浅間・JA全農長野のスタッフの皆さんに出迎えられ、着替えて、いよいよ田植えに出発。会館から季節の花々が咲くあぜ道を歩くと、すぐに到着。棚田の持ち主、小林さんをはじめ6人の生産者が準備万端で歓迎してくれました。



一斉にスタート

中腰は大変な作業!



浅間山をバックに



はじめはちょっと歩きにくい



小諸の湧水「弁天の清水」

「根付かせるためには、土に刺すように植えることがポイント」とのアドバイスを受け、各自手に苗を持って、いよいよ田んぼに入ります。田植えの目印となるオレンジ色のロープが渡してあり、これに沿ってグループごとに整列。泥に足が入る感触、水田の水温を感じながら、ロープに記されている赤い目印に植えていきます。

1列植え終わるとロープの位置をずらし、作業を続けます。場所を移動するにも足を取られて、なかなかスムーズにいきません。いつの間にか服のあちこちに泥が飛んでいます。

10メートル四方の棚田は30分ほどで田植えが終わりました。バケツの水で軽く泥を落とした後、小諸の湧水「弁天の清水」に徒歩移動。道中にカエルを見つけてはしゃぐ子どももいました。

室町時代から記録があるという弁天の清水は豊富な湧水で、ひんやりして、天然のミネラルウォーターでした。

着替えて戻った参加者と地元の皆さんとで交流をしながらお弁当タイム。

JA佐久浅間が運営する道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に併設されている郷土料理レストラン「咲恋テラス」。特製弁当に入っていた「金芽口ウカト玄米と金芽米」のおにぎりに「普段おにぎりを食べない子どもがパクパク食べた」と複数のママから喜びの声も。

具なしでもおいしい、家で食べるよりおいしいとの感想もありました。

田んぼの土が気持ちよかった、土地の雰囲気もすてきだったとの声が寄せられ、親子で「感動体験」ができた産地・交流訪問となりました。



金芽口ウカト玄米と金芽米のおにぎりの特製弁当

行動目標

1 食料自給率の向上

食費の5割以上は東都生協の商品を利用し、食卓から日本の農業を応援しよう

行動目標

2 日本の農業を元気に

行動目標

3 持続可能な社会に向けて

今月のつばやき

「少し涼しくなると、ついつい注文数が増えるような…」食欲の秋に向かって“組合員あるある”かな? いつもはスルーする商品も、今日はおいしそうに見えたから試してみる。あら、思ったより好きだった。これが私の「わたしのこだわり」商品利用への第一歩。自分の味覚を信じてみる。今年も本格的な秋が楽しみです♪ (M.S)

お問い合わせ

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

共同購入事業部 組合員活動推進グループ  
☎03(5374)4756 月曜～金曜日：午前9時～午後4時  
E-mail: kumikatsu@tohto.coop  
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

